

花咲かだより

社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム 山科苑

デイサービスセンター 山科苑

居宅介護支援センター 山科苑

京都市山科区大塚野溝町3番地

TEL (075)593 0800

ryokuju@agate.plala.or.jp

福ねずみ



さん 作

ごあいさつ

余寒の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より当法人運営にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。



新しい年が始まり、早くも1カ月が過ぎました。「初心忘るべからず」の精神で本年も利用者様により良いサービスを提供していきたいと考えています。

山科苑では、今年は設立15年目を迎えます。ある意味ひとつの節目となる年でありますので職員一同、利用者の皆様が毎日を楽しく、安心してお過ごし頂けるように施設の充実を図り、そして地域の皆様に愛され、信頼される施設を目指して努力していく所存でございます。当施設をご利用の皆様、お気づきの点がございましたら、遠慮なく身近な職員へお伝えください。

今後とも、どうぞ山科苑をよろしく願いたします。

平成20年 2月
施設長 吉澤 英樹



施設研修へ行ってきました



本年度研修計画の一環として、特養正職員を対象に自らの施設を客観的に見直すことを目的に、12月から1月にかけて特別養護老人ホームである“ユーカリの里”、“ヴィラ山科”、高齢者福祉施設“紫野”への他施設体験実習に行ってきました。施設のしつらえの工夫や排泄、入浴、食事などの介護の方法、ユニットケアのあり方を学んだだけでなく、それぞれの施設職員のご利用者への熱い思いや苦労話、課題など貴重な話を聞くこともできました。また、この研修を通して職員一人ひとりが、自己の介護ケアの振り返り・考え方や捉えかたの違いなど多くの学びを得ることができたとともに、違った視点から当苑の欠点や利点に気づくことで新たな発見もあり、現在取り組んでいるフロアケアに対しての意識もより高まりました。

さらに、“ユーカリの里”の職員相互研修も実施することができました。他施設の職員を受け入れることは自らの施設サービスを見られるだけでなく、自らの施設を“言葉”で語ることであり、交流を通して自らの施設への気づきへとつながりました。

この他施設研修を通じて、介護サービスのいろいろな可能性と広がりを見ることができ、職員一同の資質の向上と、より良い関わりができるよう今後も精進していくところです。改めて、今回の研修を快く引き受けて頂いた“ユーカリの里”、“ヴィラ山科”、“紫野”の皆様にはこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



特別養護老人ホーム山科苑職員一同

特養だより (2)

秋の遠足&紅葉ドライブ

9月下旬から12月にかけて秋の遠足・紅葉ドライブに出かけました。

遠足では、博物館・花鳥園・マーガレットステーション・映画村・宇治平等院・日吉大社などなど。いつもはなかなか行けない所に遠出して、昼ごはんもバイキング・鰻など皆様お腹一杯召しあがられました。今年は神戸の花鳥園に初めて出かけ、遠い場所でしたが、皆様疲れ知らずで鳥に触れたりして楽しめました。

紅葉ドライブでは、秋の空気をたくさん吸って、移りゆく秋の季節を楽しまれていました。ドライブから帰って来た時は皆様笑顔・笑顔。「たまにこうやって出かけるのもいいもんだな」と話されていました。



★クリスマス会★



12月22日(土) 山科苑にてクリスマス行事が開催されました。今年は二部に分けての会を催しました。

第一部(昼の部)では音羽中学校より、吹奏楽の慰問があり素敵な音楽のプレゼントがありました。各階にわかれて木管楽器や金管楽器の生演奏です。とても間近での演奏で、音楽を存分に楽しむことができ、ご利用者さんも喜んでおられました。職員も即興でハンドベルを演奏する事に...ぶっつけ本番だった為ぎこちないベルの音が(笑)音楽の後はクリスマスケーキの登場。いつもは触れ合えない音羽中学の学生さんたちと、一緒に和気あいあいとケーキを食べながら、楽しい一時を過ごしました。

第二部(夜の部)はちょっと電気を消してのキャンドルサービスから始まり、クリスマスの厳かな雰囲気を出しました。その後はクリスマス特別ディナーが用意され...皆様お腹いっぱい召し上がられ満足な笑顔満開でした。サンタからの今年のクリスマスプレゼントは・・・暖かそうなショールでした。



デイサービスだより



『明けましておめでとうございます』

平成20年・・・子年ですネ。

干支頭の年です。山科苑デイサービス職員一同、初心を忘れないように平成20年も利用者様により良いサービスを提供できるように努めてまいりますので今年もよろしくお願ひ致します。

『～グループワーク～』



毎月第2週目か3週目に三種選択のレクリエーションを行なっています。

三種類の内容は「足踏み運動」「ぬり絵」「手芸」です。

昨年から始めたこのグループワークは毎月、毎回継続されている方。その時の体調や気分に合わせて前回とは違うものを選ばれる利用者さんと様々です。

男性が手芸を選ばれ熱心に取り組まれている姿に職員の方が驚いたりします。細かく丁寧に何日もかけて花の手芸を作り上げられた時の利用者さんは、とてもいい表情をされていました。また、最近では足踏み運動を選ばれる利用者さんが増えました。足踏み運動といっても利用者さんによって取り組む方法は違うのでどの方にも参加していただけます。90歳代の方も頑張っておられますヨ。椅子に座ったまま膝をあげて足踏みされる方、立って手すりを持ちたり机に手をつけてその場で足踏みする方、万歩計をつけて、廊下を歩かれる方・・・その日の足踏みした歩数を記録しています。利用者さんのその日の体調に合わせて足踏みし

ていただきますが、中には「もう今日はここで終わりにしましょう」と止めるまで意欲的にされる利用者さんもおられます。いつまでも元気に歩けるようにこれからも一緒に頑張りましょうネ。



(文:中村 典子)

『行事の風景です』

昨年12月、クリスマス会をしました。職員の芸を披露して利用者様に楽しんで頂きました。



医務室だより



「低温やけどに気をつけて！！」

暖房器具が欠かせない季節、気をつけたいのが低温やけどです。使い捨てカイロやこたつ、電気あんか、湯たんぼ、ホットカーペットなど、ふだん危険を感じることなく使っている物が原因になります。

低温やけどを起こす部位は、脚がほとんどです。脚は感覚が鈍く、また血行が滞りやすいために、やけどを起こしやすいのです。熱源に押し付けられる形でふれると、毛細血管が圧迫されて血流が滞り、その部分に熱がこもって低温やけどを起こしやすくなります。冷え性で電気あんかや湯たんぼなどを使う機会が多い女性や高齢者、糖尿病で知覚障害があるなど、皮膚感覚が鈍くなっている人は、特に注意が必要です。また、疲れていたり、お酒を飲んでいたりして眠り込んでしまったときなども、熱に気付かなくなりやすくなります。ホットカーペットやこたつで、そのまま眠ってしまうような事がないように気をつけましょう。



看護師 辻中 政代

厨房だより

『節分と恵方巻き(えほうまき) ~ 今年の恵方は南南東 ~ 』



立春 2月4日ごろ。一年のうちで最も気温が下がり、こを境に徐々に暖かさが増してきます。

昔、一年の始まりとされていた立春の前日の行事が暮しに溶け込み、豆まきや追儼(鬼追い)という形で今に伝えられています。節分の豆まきの豆は大豆が一般的ですが、地方によっては殻付の落花生や小餅を撒くところもあります。鬼は大きな音と匂いと鋭い物に弱く、炒ると音を立てる大豆で「鬼は外！」と豆をまき、玄関には鬼の目を突く柊(ひいらぎ)と匂いのする鯛の頭を飾ります。

また、今では各家庭でも食べられている「恵方巻き」とは関西で流行りだした行事で、大阪の商人の街として知られる船場あたりで明治の初め頃から始まったという説が有力ですが、海苔業者が海苔の消費拡大を狙ったことがきっかけで広がったと言われます。「まるかぶり」にするのは、包丁で切ることで中に巻き込んだ福がこぼれないためとも言い、七福神にあやかっ、かんぴょう、高野豆腐、キュウリ、シイタケ、伊達巻、うなぎ、でんぶなど7種類の具が入った太巻きを無言で1本食べます。巻き寿司を鬼の金棒に見立て、それを退治する意味もあるらしく色々な見解があるようです。



管理栄養士 山下 咲子

特養だより (1)

〇〇様 百歳祝いの



2007年10月23日 〇〇さんの百歳祝賀会をご家族と共に開催しました。職員一同改めてお祝い申し上げます。

祝賀会では、思い出の写真をもとにスライドショーを開催したり、百歳記念として山科苑から時計をプレゼントさせて頂きました。とても几帳面で何に対してもキチッとされ

ており、笑顔が素敵な今井さん。毎日米粒1つ残さずご飯を召し上がられ、とってもお元気です。これからも、身体に気をつけて、〇〇さんらしく元気にお過ごし下さい。



あけましておめでとうございます

もーいーくつ寝ると、お正月

とうとう2007年が終わり、2008年がやってまいりました。

元旦は9時より皆様一同に集まり、祝賀会が開かれました。

施設長の挨拶の後、「おとそ」と「雑煮」「おせち」をよばれ1年の始まりです。

超偉大なご長寿(103歳)の方もお正月には凛とした姿でご出席され、本年最初の乾杯の音頭をとられました。また、昨年1年間の朝の体操に最も参加された方々への表彰を行いました。

昼からは、各階にてレクリエーションとして坊主めぐり・すごろく等、お正月ならではの遊びに興じました。坊主めぐりでは、坊主が出ないように皆様必死でめぐっておられ白熱した戦いとなっていました。今年一年の始まりに楽しんでいただけたでしょうか。

2日は、毎年恒例の書初めです。

思い思いの文字をしっかりと書かれておられました。

「正月」「迎春」又はご自分の願望等々様々な言葉が並びました。

そして皆様が書かれた文字は各階に貼らせていただきました。

皆様。今年も一年「健康第一」、毎日楽しく素敵な一年を一緒に過ごしましょう。



居宅介護支援センターだより



『ごみ出しのお話』

とあるお宅におうかがいした時のこと。室内が、机の上が、なんだかこまごました物であふれていました。どうされたんだろう？と想像していたら傍らに黄色い袋・・・「ぼちぼちやってます」。ごみ出しの準備だったんですね。

環境を守るためには私たちひとりひとりの心がけや協力が必要です。ごみの分別もそのひとつ。でも、お買物のたびに出てくるトレーに牛乳パック、ペットボトルにビン・缶、次々にやってくるダイレクトメールなどなど。そして、指定のゴミ袋に入れ終わったら、次はごみ出しです。収集日に合わせて所定の場所にきちんと出さなければ持って行ってもらえません。終わった～と思っても油断していると、あっという間にいらぬものでいっぱいになってしまい、紙類とビニール類が組み合わさった物なんかも多かったです。ごく日常なこととはいえ、改めて考えると、ごみ出して結構大変です。

では、これまでなんとかひとりでやってきたけれど、難しくなってきた時にはどうしよう？お手伝いをしてくれる方が近くにいればいいですが、誰もいない場合には公的な制度を利用するという方法もひとつです。介護保険制度を利用してヘルパーさんに手伝ってもらおうという方法に加えて、今年から京都市では新しいサービス(『ごみ収集福祉サービス』)が始まりました。こういう生活支援サービスの充実がうれしい限りです。がんばれがんばれ！と、おしりをたたかれるだけじゃなく、体が不自由になってきても住み慣れた地域で当たりまえの日常生活を当たりまえに送ることができる。そんな安心感や希望がもてる世の中になってほしいなあとと思います。

京都市『ごみ収集福祉サービス』とは？

サービスの内容:

1. 家庭ごみ 缶・びん・ペットボトル プラスチック製容器包装 小型金属類の4種類全てが収集の対象。
(分別は必要です)
2. 玄関先まで収集。集合住宅も同様。(屋内の立ち入りは不可)
3. 原則として、4種類全てを同時に週1回収集。
4. ごみの排出がない場合の安否確認。

対象となる方:

1. 京都市内にお住まいの方。
2. 介護福祉サービスまたは障害福祉サービスを利用し、かつ、ホームヘルプサービスを利用されていること。
3. 65歳以上の方、お身体に障害のある方、または、同様の方のみで同居されている世帯。
4. 1.～3.全ての項目に該当される方。

介護についてのご相談等がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせ下さい



居宅介護支援センター 山科苑 (075)593-0804

介護支援専門員 中村 里美
竹宮 富美枝



山科苑は、地域みなさんに支えられてがんばっています

ボランティアさまご紹介 行事等の活動報告 「皆様には、厚く御礼申し上げます。」

- * 10月 * 『遠足(神戸花鳥園・マーガレットステーション・映画村・博物館・平等院)』、『今井さん百寿お祝い会』
- * 11月 * 『紅葉ドライブ(日吉大社・びわ湖大津館)』
- * 12月 * 『クリスマス会(音羽中学吹奏楽演奏会)』、『餅つき』
- * 1月 * 『元旦祝賀会』、『初詣(平安神宮・岩屋神社・諸羽神社)』
- * 寄贈 / そば餅 本家 尾張屋 御中、座布団 京都婚礼衣装卸協同組合 御中、ポータルレ 小野様、バナナ (株)朱常分店 御中、鮭 京都水産協会 御中、みかん 京都青果協会 御中、
- * フロア生け花 / 松井ちづる様 * * 音楽療法 / 特養:音の風、デイサービス:越田民代様、松永裕子様 * *
- * デイサービスボランティア / 澤 信子 様、鈴木 啓子 様 * 3階フロアボランティア / 石野 義子 様
- * 学生ボランティア / 川本 理絵 様、上嶋 麻理子 様、岡本 早苗 様、大西 美希 様
- * 訪問ボランティア / 日本舞踊"ころの会" 社中 天理教鼓笛隊 花山中学吹奏楽部
音羽中学吹奏楽部 空手笑誠会一同
- * 実習生受け入れ(9月~1月) / 龍谷大学、京都女子大学、華頂女子短期大学 聖母女学院短期大学
京都YMCA国際福祉専門学校、南海福祉専門学校 * *

ボランティア募集 「山科苑でボランティアしてみませんか？」

お年寄りとお話しをしたり、お出かけ・苑内外行事のお手伝い・掃除・洗濯のお手伝い等々、福祉のお仕事にご興味のある方は、担当の中谷、岸田までお気軽にお問い合わせください。

ボランティアコーナー

松井智津甫先生(華道本能寺流華務職)

10年以上に渡り、3階フロアに季節の香りを届けて下さっています。利用者さんもその日を心待ちにされていて、花切り鉄の音が響く中、和やかな時間が流れます。

先生より一言:花を大事に、限られた場所でどう季節感を出すか、和んでいただけるかを心がけながら生けています。また、花をとおして皆さんとお話ができることも楽しみのひとつです。これからも、できるかぎりお手伝いをしていきたいと思っています。



お知らせ

山科苑では、『お客様の声 BOX』を設置し、ご利用者様、ご家族様よりサービスをご利用いただく中で、ご希望や疑問、ご苦情、ご不満な点などがございましたら、ご投函いただくようお願いしております。頂戴しました「お客様の声」には、即座に対応し、見直しを行い、質の向上に努め、より適切なサービスを提供させていただき所存でございますので、今後ともよろしく願いいたします。

ご相談・ご苦情受付連絡先 京都市山科区大塚野溝町3番地
緑寿会 山科苑

(075)593-0804

苦情解決責任者 施設長 吉澤 英樹
ご相談・ご苦情受付窓口 特別養護老人ホーム 岸田 光彦
デイサービスセンター 安富 友視

『花咲かだより』67号 冬号 平成20年 2月 1日発行

発行所 / 社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム デイサービスセンター 居宅介護支援センター 山科苑

発行担当 / 山科苑広報委員会

広報委員 / 中村里美、岸田麻衣、中村典子、岸田光彦

